

あした 元気に なあれ

Vol.
97



新時代の手術顕微鏡
ラルス装置の更新

第92回 知っておきたい医療の知識

身体拘束を減らす取り組み

減量外来開設

防災訓練、病院慰霊祭について

長野市民病院広報誌 2025年12月発行



特集

Hospital Now.43 第17回 病院祭
ふれ愛デモ開催しました

全国で4施設目の導入
2025年10月稼働



導入した
ZEISS KINEVO 900S

新時代の手術顕微鏡

ツァイス キネボ キュウヒャクエス
— ZEISS KINEVO 900S —

ZEISS KINEVO 900S の紹介

脳神経外科開頭手術は、神経伝達している脳神経細胞に取り囲まれる環境下での手術操作を必要とされます。術者は解剖学は勿論、超微細な手術操作を要求されることが多く、手術時間も時には長時間を要するため、術者自身の忍耐力も必要とされます。高度な技術のみでは脳疾患に打ち勝つことはできず、脳神経外科手術には科学技術の革新が必要不可欠です。

かつて肉眼手術の時代では、脳外科手術の神経合併症は受容されていたこともありましたが、1970年代後半、信州大学脳神経外科初代教授杉田虔一郎先生が脳外科領域に手術顕微鏡を日本で開発・導入されてから飛躍を遂げたとされています。その後、1990年代後半には患者さんの体の負担を少なくする内視鏡が導入され、2010年代後半に

は外視鏡が登場しました。

ZEISS KINEVO 900S は、最新の手術支援システムが搭載されており、かつ最大限に現代の技術が底上げされた次世代の手術顕微鏡です。従来の顕微鏡を超える視認性、精密な操作性、そしてスマートなデジタル連携に加え、AI（人工知能）技術との統合により、複雑で長時間を要する脳外科手術において安全性と効率性が新たなレベルへと引き上げられています。

主な特長

●外視鏡・内視鏡の兼備

術者が直接顕微鏡筒を覗かなくても鏡筒（レンズが入っている筒状の部分）のみを動かして、投影されたモニターをみて手術を行います。今まで顕微鏡手術では覗き込むことができなかった、我々は視軸（見ている方向）を確保することが可能となり、到達

●4K高解像度・3Dイメージング

困難であった病変の操作を可能にします。また、内視鏡をも併せ持つことでさらに脳深部への観察を可能とし、手探りによる危険な手術操作といったリスクを回避することが出来ます。

4Kカメラ内蔵で、これまでより格段に精細な画像を映し出します。3Dモニター画面への可視化も可能とし、直接顕微鏡を覗く手術に匹敵する距離感や立体感をもたらします。また、大画面のモニターに映



新機能 Z-mode

Zモード

KINEVO 900 S での新機能。術野の拡大率を保ったまま、顕微鏡の高さ（Z 軸）を動かすことができます。これにより、さまざまな手術シーンにおいて作業距離や視野を確保することが可能です。

PointLock

ポイントロック

術野の焦点を保ったまま、顕微鏡を前後左右（XY 軸）に動かすことができます。術野の角度を変えることで、鍵穴をのぞき込むように術野の周囲を観察することが可能です。

Position Memory

ポジションメモリー

任意の術野を保存しておくことで、いつでもその術野を呼び出すことができます。これにより、手技前後の状況を確認したり、特定の位置で手術を行うことができます。

●Cobotic Assistant (協働ロボティクス)

① Auto Center 機能…高倍率の脳外科手術では詳細な視野の位置調整を幾度も手動で行ってききましたが、手を使わずに

自動で調整が入るため術者の集中力が長続きます。

② Z-Mode/Point Lock/Position Memory 機能（左写真）…顕微鏡位置を変更しても、マイクローメートルサイズ（1ミリの1000分の1）に強拡大された術野でも、中央を据えたまま自動でピント調整する機能です。視軸を頻繁に変えて多角的にアプローチを行います。今までは手作業

による若干の中央点とピント（フォーカス）のずれを都度直す必要があったため、再調整がストレスでした。この機能によって快適操作へと大幅な変化をもたらしています。

●AI支援機能

AIを活用した画像解析や組織識別により、術者の手術道具の先端と脳組織の区別を認識。術者が必要としている視野位置変更の自動調整を行うなど、手術現場での効率と精度を飛躍的に向上させています。

●多彩なデジタル機能

手術映像・画像の高画質記録を別の場所に中継する同時ストリーミング、またリアルタイムで中継するライブデモによって、遠隔からの手術支援や遠隔教育環境としても最適です。

●高い互換性・拡張性

各種手術ナビゲーションシステムや外部モニター、記録デバイスとの連携も容易で、今後のAI技術のアップデートや

追加機能といった技術の進歩にも柔軟に対応できます。

患者さんへの還元

ZEISS KINEVO 900S は、「観察する」「記録する」「共有する」

機能が強化されたうえ、さらにAIの力が加わることで、術者の手術技能を高め、次世代の脳外科手術を可能とさせています。我々は純粋な技術の鍛錬や最新の知識の習得はもちろんのこと、今回ご紹介した最新の手術器具をもって最大限に実力を引き延ばし、これからも皆さまにご満足いただける脳外科手術の治療を提供させていただきます。



桑原 晴樹

くわばら・はるき
脳神経外科科長

写真提供：カールツァイスメディテック株式会社

ふれ愛デを 開催しました

9月27日(土)、病院祭「ふれ愛デー」を開催いたしました。
当日は一日中よく晴れて気温も上がり、動く汗ばむくらいの陽気になりました。
そのような中、今回も幅広い年代の1,200人の皆さまにご来場いただき、誠にありがとうございました。
恒例となりました市民健康講座、「白衣、ナース服で撮影! こども写真館」のイベントに多くの方々にご参加いただきました。
当日の写真を掲載いたしますのでご覧ください。
警察、消防、自衛隊の担当の方々をはじめ各イベント等にご協力いただいた皆さまに感謝申し上げます。
当日のアンケート等でいただいた皆さまからのご意見を、次回開催に活かしてまいります。来年も多くの皆さまのご来場をお待ちしております。

A エントランスホール



サイマルが
お出迎え



白衣、ナース服で撮影! こども写真館



手洗い体験・潤いプルプルスキンケア体験



松葉杖・車いす体験



施設見学ツアー



QRコードを探そう! スタンプラリー



吉田東町神楽保存会
による神楽



キッズ
バイオリン



B ホスピタルモール



災害救援活動パネル展示

医師による
フォークデュオ
ライブ



C がん相談支援センター



がん・すまいるサロン
(がん教室「アピアランスケア」)



D リハビリテーションセンター



キッズコーナー

ストラックアウト



バスケットシュート



紙コップ工作・ぬり絵コーナー



輪投げ



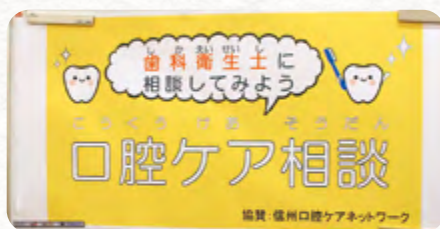
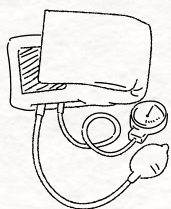
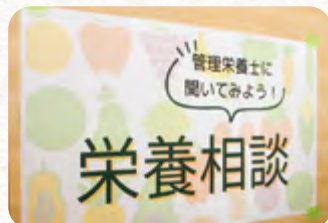
サイまると撮影

E リハビリ テーション センター前

AED体験



F 健診センター



G リハビリ庭園



長野県警察音楽隊



H ヘリポート北側



キッチンカー



I ヘリポート西側



検診車ブース



消防署ブース



煙ドーム体験



自衛隊ブース

ヘリポート東側



「長野市農業公社
ひっぱりだこ号」直売



警察署ブース



サポートカー実演・セニアカー試乗



遊び広場 エアートランポリン ふあふあ

K 第4・5・6会議室

第45回市民健康講座

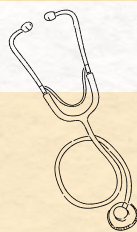
講演1／高血圧の正しい理解と予防

院長補佐・循環器内科部長 笠井 俊夫

講演2／脳の健康を守る

～認知症予防とアルツハイマー病治療の最前線～

副院長・脳神経内科部長 山本 寛二



講師



講師



L 市民健康ホール



デコパージュ体験



薬剤師になろう

～正しいお菓子を集められる？～



M 体育館



元信州ブレイブウォリアーズ
佐藤託矢氏による講演
・バスケットボール教室

ラルス装置を更新しました

長野市民病院では2025年12月に

ラルス装置の更新とあわせて

同一室内にCT装置を導入しました。

これまで「線源」を留置後、

100メートル離れた場所まで

患者さんに移動していただき、

確認のCT撮影を行っていました。

今後はすぐにCT撮影が可能となり、

患者さんおよびスタッフの

身体的負担の軽減とラルス治療全体の

所要時間短縮につながります。

ラルス（遠隔操作密封小

線源治療）は、体内から腫

瘍に向けて放射線を照射す

る治療法です。リニアック

による外部照射とは異なり、

放射線を発する物質（線源）

を腫瘍の近く、あるいは腫

瘍内部に数分間留置するこ

とで、腫瘍に対して集中的

かつ効率的に照射すること

ができます。その一方で、

腫瘍から離れた正常組織へ

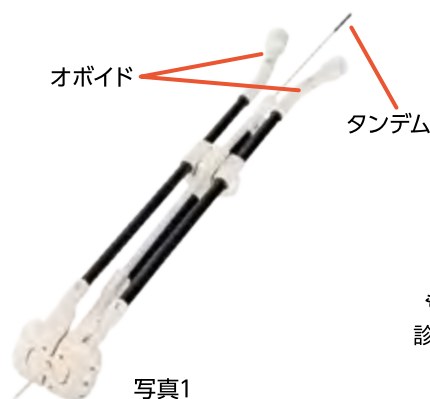
の影響を抑えられる点が特

徴です。

主に子宮頸がんなどの管腔

臓器に対して行われ、タンデ

ム1本およびオボイド2本と



呼ばれる器具（写真1）を用いて行う腔内照射が代表的です。



両角 拓哉

もろずみ・たくや
診療放射線科主任
診療放射線技師
医学物理士



写真2



写真3



写真4

また、外部照射と組み合わせることので高い治療成績が得られ、手術と同等の効果を示すデータも報告されています。さらに、前立腺がんに対しては針を腫瘍内に直接刺入し、ラルス装置を用いて行う組織内照射が選択されることもあります。(写真2・3・4)

体への負担が比較的小なく、放射線による副作用の軽減も期待できるため、患者さんにとって有効な治療選択肢の一つとなっています。

ラルスによる放射線治療を実施できる医療機関は北信地域では当院のみです。これからも「地域がん診療連携拠点病院」として、関係診療科と放射線治療科が連携して、患者さんに安心して質の高い治療を受けていただける体制整備に努めてまいります。

その人らしさを守る医療に 身体拘束を減らす取り組み

近年、医療や介護の現場では、患者さんの人権と尊厳を守るために「身体拘束の最小化」が大きな課題となっています。新聞やテレビでも身体拘束に関する問題が取り上げられる機会が増え、国全体としても患者さんや利用者さんの権利を守る取り組みが強く推進されるようになりました。

これまで医療現場では、転倒防止や点滴、管（カテーテル）の抜去予防といった「安全の確保」を優先し、身体拘束を行うことが少なからずありました。身体拘束とは、患者さんの手足を固定して、ベッドから離れら

れないようにしたり、管を抜かないように手袋をするなど、本人の自由な行動を制限する行為です。身体拘束は「その人らしさ」を奪うだけでなく、身体機能の低下や精神的ストレスなど、さまざまな不利益をもたらすことが分かっています。

2024年からは、国が定める入院の診療報酬の施設基準に「身体拘束最小化」が加えられ、医療機関全体での取り組みが求められるようになりました。

生命に危険が及ぶ切迫した状況では、やむを得ず身体拘束が必要となる場合もあります。しか

し、可能な限り身体拘束ではない代替手段を考えることが私たち医療者に求められています。

身体拘束最小化に向けた当院の取り組み

長野市民病院では、患者さんが安心して自分らしく過ごせる環境づくりをめざし、2024年5月に山本寛二副院長をチーム長に、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、医療安全管理者、事務職で構成される『身体拘束最小化チーム』を発足しました。現在、チームメンバーを中心に院内の現状を定期的に確認しながら、職員研修の実施や現場での

①

患者さんの尊厳を守る

一人ひとりの人権を最優先に考え、自分らしく過ごせる環境を提供します

②

チームで取り組む

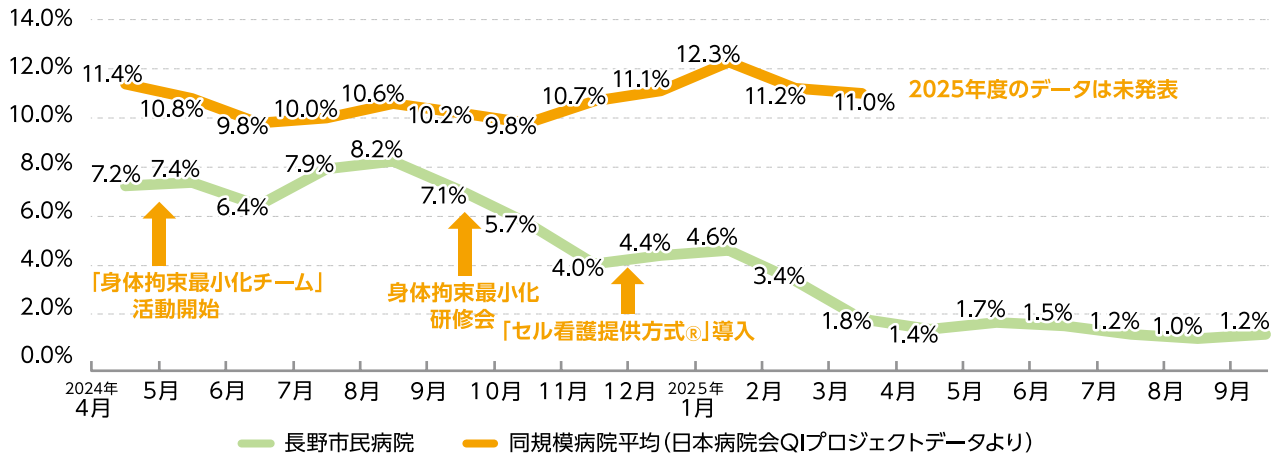
医療スタッフ全員が連携し、身体拘束最小化を推進しています

③

継続的な改善

定期的な研修と現場での話し合いを通じて、より良い方法を模索します

身体拘束実施率 同規模病院との比較 グラフ



取り組み強化の推進等、積極的に活動しています(①・②・③)。

また、新たな取り組みとして、2024年12月に看護部が「セル看護提供方式®」という新しい看護提供体制を導入しました。この体制は、看護師が患者さんの傍でケアする時間を確保し、患者さんの近くで仕事をすることで、一人ひとりの状態変化に迅速かつ柔軟に対応できるようにするものです。これにより、個々の状況に応じた支援が行いやすくなり、身体拘束を行わない看護が実践できるようになりました。

また、毎日のカンファレンスで身体拘束の検討をしています。例えば、点滴や胃管を抜いてしまう危険がある場合や、転倒のリスクが高い場合であっても、生命を脅かすような切迫した状況でなければ、身体拘束ではなく代替方法を検討します。やむを得ず身体拘束を行う場合も、「他

に方法はないか」「解除できるタイミングはないか」など、常に解除に向けて検討を重ねています。

取り組みの成果

以上の取り組みの結果、身体拘束実施率※は大きく減少しました。2024年度当初は7.2%でしたが、セル看護提供方式導入時の12月には4.4%へ、さらに2025年4月から9月は1.0%台で推移しています。

この数値は、同規模・同機能病院の平均値と比較しても非常に低く、当院の取り組みが確実に成果を上げていることを示しています(グラフ参照)。

私たち職員は、高度な医療の提供とともに、患者さんの「安全」と「尊厳」を守ることを大切にしています。身体拘束を最小限にするためには、医療スタッフだけでなく、患者さんやご家族、地域の皆さまのご理解

とご協力が欠かせません。

気になることやご不安、ご意見等がございましたら、遠慮なくスタッフにお声かけください。皆さまの声を大切にしながら、より良い医療・看護を一緒に考えていきたいと思っています。

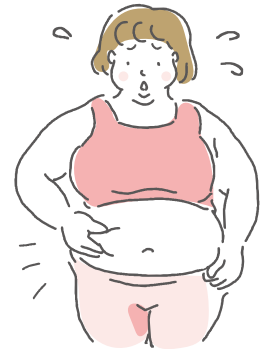
※身体拘束実施率＝全入院患者のうち身体拘束を実施した患者の割合



\ 2026年1月 /

減量外来を開設します

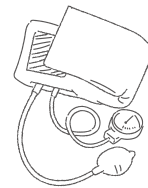
運動や食事改善をがんばっても、思うように体重が減らない…そのような肥満の悩みを抱える方は少なくありません。肥満は見た目の問題だけではなく、糖尿病や心臓病など重大な病気のリスク要因にもなる深刻な健康状態です。実際、日本でも肥満傾向にある人は年々増加し、中年だけでなく若年層にも広がっています。



こうした背景から、長野市民病院では糖尿病・内分泌内科医師、管理栄養士、理学療法士などが連携し、新しい肥満症治療薬による薬物療法を軸に減量サポートを行う「減量外来」を開設することになりました。

新しい肥満症治療薬（ウゴービ、ゼップバウンド）の治療適応がある患者さんが対象になります。

- BMI 35 kg/ m²以上で高血圧、脂質異常症、糖尿病のいずれかで内服治療を要する
- BMI 27 kg/ m²以上+肥満に関連する健康障害があり、高血圧、脂質異常症、糖尿病のいずれかで内服治療を要する



当院では、これらの条件を満たした方に対して、医師が総合的に判断し、薬物治療を提案します。薬だけに頼るのではなく、専門チーム（肥満症治療チーム）による患者さん一人ひとりの状況に合わせた食事・運動・薬物療法を組み合わせる個別サポートを提供します。

また、地域の医療機関の先生方とも連携して安全で効果的な減量で肥満に関連する疾患（糖尿病、高血圧、脂質異常症など）の予防・改善に取り組んでまいります。

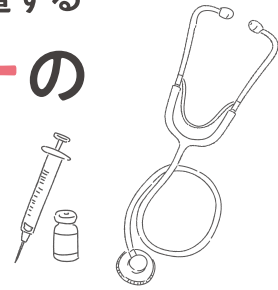


「ゼップバウンド」
10mg



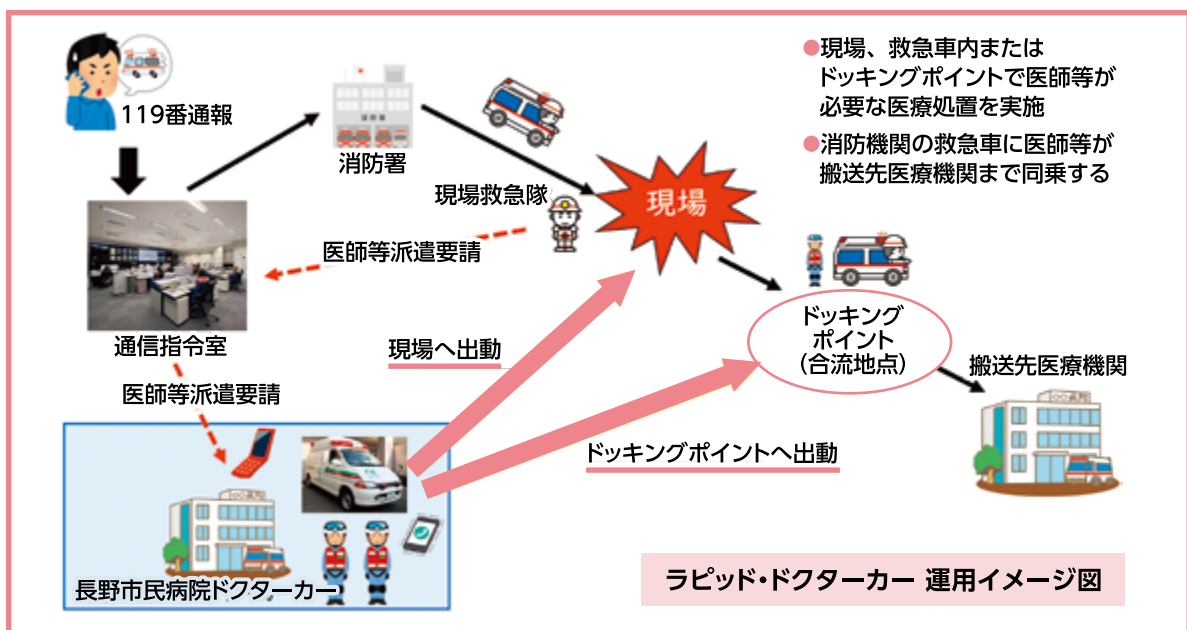
「ウゴービ」
2.4mg ペン 9.6MD

医療機関から直接出動し、現場へ医師等を派遣する ラピッド・ドクターカーの 運用を開始します



ラピッド・ドクターカーとは

ドクターヘリと同様に消防機関等からの要請によって病院から直接出動し、医師等が一刻も早く救急現場で緊急度・重症度の高い患者さんの診療や救急処置が開始できるように、必要な医療機器・医薬品等を搭載した病院が所有する緊急車両です。



ラピッド・ドクターカーの目的は、
傷病者の救命率の向上、後遺症の軽減です。

- ① 医療介入、決定的治療までの時間短縮
- ② 現場で医師が実施する高度な医療の提供
- ③ 診療方針決定の前倒し



写真1

長野市民病院では、救急科医師を増員、また 2024 年2月からは救急救命士が常勤で勤務しており、救急診療にさらに力を入れています。

現在使用している病院所有の救急車は、長年消防機関で活躍していた車両で、今まで主に災害派遣医療チーム (DMAT) の訓練や災害派遣で活用していました。(写真1)

このたび施設間患者搬送での活用の強化、より安全な患者搬送のため救急車の更新を予定しました。さらに、ラピッド・ドクターカーの運用でより一層、地域医療への貢献をめざして消防機関と調整を進めています。ラピッド・ドクターカーの運用開始につきましては、決まり次第病院ホームページ等でお知らせいたします。

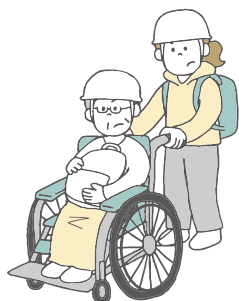
※ラピッド・ドクターカーの出動で患者さん、ご家族にご負担いただくのは、医療機関受診時同様、保険医療制度に基づいた負担金額になります。

防災訓練を実施しました

2025年10月24日、長野県北部を震源地としたマグニチュード7.0の直下型地震（震度6弱）が発生し、多数の負傷者の搬送、来院の受入が想定される訓練を実施しました。

当日は、病院職員、委託職員、ボランティアの皆さん等約130名が参加し、診療統括部門の指示のもと、患者トリアージ、重症度に基づいた模擬治療、手術患者、入院患者の病棟の調整、受入患者の情報の共有を行いました。

同時に災害対策本部を立ち上げ、院内の被害状況の確認と外部への状況発信という、災害レベルに準じた傷病者受け入れ体制を敷きました。



病院慰霊祭を執り行いました

故人の御霊に哀悼の意を表し、医療への決意を新たに

2025年11月21日（金）、ご遺族をお招きし「病院慰霊祭」をしめやかに執り行いました。

当院では医学の発展及び研究のため、ご遺族の承諾のもとに病理解剖を行っております。

2010年より2024年までの間、尊いご遺体をご献じいただきました御霊は51柱でございます。

当院は今後も、患者さんお一人お一人の命と向き合い、安全で質の高い医療を提供できるよう、職員一同、決意を新たにしていまいります。



世界糖尿病デー記念イベントご報告

2025年11月13日、糖尿病講演会を開催しました。

第1部「糖尿病とその合併症」に続いて第2部は「糖尿病とともに生きる」として、認知症予防にもなるその場でできる簡単な運動や脳トレも取り入れた内容でした。



11月10日から14日まで、パネル展示とライトアップも行いました。



＼ 第46回 /

市民健康講座のご案内

時間／13:30～15:30(開場13:00)

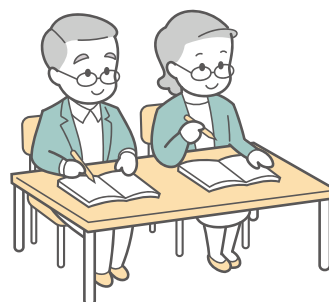
2026年

3月14日 土

入場無料

事前申込
不要

長野市東部文化ホールで開催予定です。
演題等詳細は決まり次第、病院ホームページ等でお知らせいたします。



お知らせ

当院では、「地域医療連携」を推進しております。

当院を受診される場合、かかりつけ医等からの紹介と予約が必要となります。

皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。お問い合わせ（地域医療連携室まで）TEL.026-295-1199（平日8:30～18:30）

長野市民病院外来診療担当日一覧

記号の説明

○：初診担当 ◎：完全予約制 ◇：午前のみ ☆：午後のみ
▼：11時診療開始 ◆：紹介のみ ▲：紹介、救急のみ
■：第1・3・5週 □：第2・4週



外来診療担当表は、12月1日現在で作成されております。
最新の担当表については病院ホームページでご確認ください。

診療科	月	火	水	木	金
呼吸器内科	○◇吉池 文明 ○野沢 修平	皆川 鮎海 ○野沢 修平	—	吉池 文明 ○野沢 修平	○皆川 鮎海
消化器内科	○原 悦雄 ○原 大地 ○中村 直樹 ☆米山翔一郎	◇中村 直樹 ○米山翔一郎	○鈴木 宏 ○高 裕信 百瀬 明里	○原 大地	原 悦雄 鈴木 宏 木澤 幸里 百瀬 明里 高 裕信 関 矢子
肝臓内科	○國本 英雄	—	國本 英雄	○◇岩垂 隆諒	—
循環器内科	○◇笠井 俊夫 ○☆宮城 拓弥	○持留 智昭	○◇池田 宇一 ☆小松 稔典 笠井 俊夫 ○☆熊谷 悠	○☆神崎 佑介 ☆熊谷 悠	神崎 佑介 ○小松 稔典 ☆宮城 拓弥
フットケアセンター	—	—	○☆持留 智昭 (13:30～)	—	—
腎臓内科	○☆田尻 知美	○◇山崎 大樹 ○☆杉浦 宏尚	—	○◇山崎 大樹 ○杉浦 宏尚	○◇田尻 知美
糖尿病・内分泌内科	☆佐野 麻美 ○武市 哲	○宮本 晃男	武市 哲	宮本 晃男 ○佐野 麻美	☆西井 裕
血液内科	○☆住 昌彦	—	—	○◇住 昌彦	—
脳神経内科	○◇山本 寛二 ○◇近藤 恭史	○◇山本 寛二 ○◇増子 真嗣	○◇増子 真嗣 ○◇近藤 恭史	○◇山本 寛二 ○近藤 恭史	山本 寛二 ○増子 真嗣
内 科	—	○☆後藤 麻友子 ☆荒川 正大	—	—	—
緩和ケア内科	◎久保 佳子	◎久保 佳子	◎久保 佳子	◎久保 佳子	◎久保 佳子
膠原病外来	○非常勤医師(信州大学)	—	—	—	—
精神科・心療内科	○◇両角 智子	—	◇両角 智子	—	◇両角 智子
小 児 科	○高山 雅至 ○松村 知彦	○松村 知彦 ○森田 舞子	○高山 雅至 ○青沼 架佑 ○森田 舞子	○高山 雅至 ○松村 知彦	▼高山 雅至 ○松村 知彦 ○森田 舞子
消化器外科 肝臓・胆のう・膵臓外科 大腸・食道外科	○高田 学 ○林原 香織	○関 仁誌 ○高橋 祐輔	○佐近 雅宏 ○朴 容韓	○小林 聡	○大塚 久総 ○関 仁誌
臨床腫瘍科	◇関野 康	—	◇関野 康	—	○関野 康
整 形 外 科	藤澤多佳子 ○中村 功 ☆橋本 瞬 柳澤 架帆 清水 翔太	藤澤多佳子 日野 雅仁 松田 智 藍葉宗一郎	新井 秀希 中村 功 ☆藍葉宗一郎 橋本 瞬	新井 秀希 日野 雅仁 橋本 瞬 ☆清水 翔太	新井 秀希 藍葉宗一郎 功 瞬 ▲中村 架帆 柳澤 翔太
リウマチ科	—	—	藤澤多佳子	—	—
形成外科	○長屋 裕之 滝 建志	○滝 建志 長屋 裕之	○長屋 裕之 滝 建志	○滝 建志 長屋 裕之	○長屋 裕之 滝 建志
脳神経外科 脳血管内治療科	○草野 義和 非常勤医師(信州大学)	○脳神経外科医師	○脳神経外科医師	草野 義和 ○桑原 晴樹	—
呼吸器外科	○竹田 哲	○志村 昌俊	○竹田 哲	○志村 昌俊	—
乳腺・内分泌外科	—	西村 秀紀 ☆中島 弘樹	○中島 弘樹	西村 秀紀 ☆中島 弘樹 ○井地 瞭子	○◇中島 弘樹 ○井地 瞭子
心臓血管外科	☆山本 高照	☆福家 愛	—	○山本 高照 ○◇福家 愛	—
皮膚科	村田 浩	村田 浩	村田 浩	村田 浩 齋木 實(第1・3週)	村田 浩
泌尿器科	加藤 晴朗 山本 哲平	雲田 繕雅 羽場 知己	加藤 晴朗 飯島 和芳 □小柴 将史	□羽場 知己 上園 拓 ◆加藤 晴朗	飯島 和芳 山本 哲平 雲田 繕雅
婦 人 科 上段は婦人科疾患担当 下段は生殖医療担当	○◇藤野翔太郎	○☆佐近 普子	○◇今井 宗 ○☆本田 理貢	○◇小林弥生子	○◇山本さやか
眼 科	◇本田 理貢 ○風間 淳	◇佐近 普子 風間 淳 ○中村さち子	◇本田 理貢 風間 淳 ○宮坂 英樹	◇佐近 普子 ○風間 淳	◇本田 理貢 ○風間 淳
耳鼻いんこう科 頭頸部外科	大塚 明弘 横溝 道範	横溝 道範	大塚 明弘	兒島 大貴 横溝 道範	大塚 明弘 兒島 大貴
放射線治療科	交替制	○橋田 巖	○松下 大秀	—	交替制
歯科／歯科口腔外科	○橋詰 正夫 ○船岡 勇介	○橋詰 正夫 ○金子 亘	☆金子 亘 ○船岡 勇介	○非常勤医師(信州大学) ○☆金子 亘	○船岡 勇介 ☆橋詰 正夫 ☆■金子 亘
救 急 科 8:30～17:30 担当医	柳沢 圭	高橋 詩乃	一本木邦治	高橋 詩乃	柳沢 圭

救急診療

TEL.026-295-1291 (直通)

救急センターは 緊急時 いつでも紹介状不要です